

4年間の流れ 2025年度(予定) 変更になる場合があります

卒業に必要な単位:124単位

専門教育科目:76単位  
全学共通科目:30単位  
広域選択:18単位

■ 必修:34単位  
■ 選択必修:10単位  
■ 選択:32単位

成長のプロセス	1年次	2年次	3年次	4年次
必修	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本考古学概説</li> <li>考古学基礎演習 ①</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>外国考古学概説</li> <li>考古学発掘実習I</li> <li>考古学史 ②</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>考古学発掘実習II</li> <li>考古学演習I</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>考古学演習II</li> <li>卒業論文</li> </ul>
選択必修	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本史概説</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>東洋史概説</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>西洋史概説</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>世界史概説</li> <li>史学概論</li> </ul>
選択	<ul style="list-style-type: none"> <li>記録史料学I(古代・中世)</li> <li>記録史料学II(近世)</li> <li>記録史料学III(近代)</li> <li>記録史料学IV(近現代)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>考古学各説I~IV(A/B) ⑥</li> <li>考古学特講I~X(A/B) ⑥</li> <li>日本古代史</li> <li>日本中世史</li> <li>日本近世史</li> <li>日本近代史</li> <li>日本古代史特講I-II(A/B)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本中世史特講I-II(A/B)</li> <li>日本近代史特講I-II(A/B)</li> <li>日本近現代史特講I(A/B)</li> <li>外国史各説I~XVI</li> <li>東洋史特講I~V(A/B)</li> <li>西洋史特講I~III(A/B)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>西洋史特講IV A</li> <li>日本文化史</li> <li>西洋文化史II</li> <li>有職故実</li> <li>日本民俗学</li> <li>歴史地理学A/B</li> <li>人文地理学概説</li> <li>地誌学</li> <li>哲学史</li> <li>仏教美術史</li> <li>西域美術史</li> <li>美術史概説</li> <li>ラテン語</li> <li>ギリシャ語</li> <li>仏教史I・II</li> <li>政治思想史I・II</li> <li>社会経済史I・II</li> <li>外国史学文献史料講読I~XVIII</li> <li>日本史史料講読II~IV</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本史学史I・II</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>古文書研究I・II</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>史料調査実習(発掘実践実習)</li> </ul>

1 考古学基礎演習

考古学で求められる資料作成と伝える技術を修得します。各自で興味のあるテーマを選択し、遺跡や博物館などで実物を観察した上で発表を行います。

2 考古学史

江戸時代に始まった日本の考古学研究を振り返ります。代表的な研究者を取り上げ、発見や研究手法を学びながら考古学史を概観。自身の研究テーマや研究方法を確立する一助とします。

3 考古学実習(写真)

発掘調査で求められる写真撮影の知識や技術を身につけます。一眼レフカメラの使い方を学び、屋外で練習。照明設備に応じた撮り分けや画像処理、暗室での現像などを学びます。

4 考古学実習(実測)

実測(出土品を図に描き資料化すること)は、考古学の最も基本的な技術の一つです。実際に土器や石器に触れながら、遺物を詳細に観察する方法や図として表現する手法を学びます。

5 考古学実習(情報)

考古学研究にはコンピュータの活用が欠かせません。情報の集め方をはじめ、Photoshop、Illustrator、GIS分析ソフトの使い方を覚え、図版・画像の加工や資料作成、地理解析を行います。

6 考古学各説・考古学特講

旧石器時代から古代までの日本、中央アジアや南米など各時代、各地域の考古学研究や文化財保存の最前線で活躍する講師陣が、最新の研究成果と課題を分かりやすく講義します。

卒業論文テーマ・研究課題例

- 春秋・戦国時代の三晋・燕国地域における貨幣の研究
- 横穴墓の線刻画からみる古墳時代の喪葬観念
- 縄文時代におけるヒスイ大珠の地域性
- 「関東郡代」伊奈氏の陣屋についてー伊奈氏の事蹟を踏まえてー
- 弥生時代中期の津波痕跡と集落動態

私の

1 Week Schedule [2年次]

	Mon.	Tue.	Wed.	Thu.	Fri.	Sat.
前期	1	2	3	4	5	6
	地誌学	人文地理学概説	教育基礎論	考古学特講V	考古学を学ぶ(1)	考古学特講VII
	英語IIAa	考古学史	考古学発掘実習I	考古学特講I	自然地理学概説	
	道徳教育の理論と方法	学習発達論	仏教美術史	世界史概説		
	教育関係法規	特別活動論	考古学実習(実測)	英語IIBa		
	経済原論		博物館資料論	生涯学習論		

	Mon.	Tue.	Wed.	Thu.	Fri.	Sat.
後期	1	2	3	4	5	6
	地誌学	人文地理学概説	教育制度環境論	考古学特講V	考古学を学ぶ(2)	博物館経営論
	英語IIAb	考古学史	考古学発掘実習I	考古学特講I	自然地理学概説	考古学特講VII
	教育課程論	生徒指導論	仏教美術史	世界史概説	教育方法論	
	教育関係法規	IOTリテラシー	考古学実習(実測)	英語IIBb		
	経済原論		博物館教育論	博物館展示論		
				博物館資料保存論		

履修のポイント

「考古学実習(実測)」では、考古学において必要不可欠な遺物の実測について学べます。この授業では、遺跡から出土した土器や石器を用いて、製作技法を観察し図面化していきます。この他にも写真撮影の方法や研究に必要なソフトの使い方を学ぶ授業があり、考古学の技術を習得できます。

学びから得たこと

本専攻の必修科目には発掘・測量調査を行う機会があり、それらを通して技術や知識を学ぶ環境も充実しています。これらの講義・調査では学生が主体となって進めていくので、より実践的な力を身につけることができたと思います。

Message

たくさんの人に考古学の面白さを伝えたい。

実家の近くに古墳があり、小学生の頃から日本列島の考古学に興味を持っていました。なかでも古墳時代について専門的に学ぶことができることから本専攻を志望しました。専門科目が充実しているので日本だけでなく外国考古学についての最新の動向もおさえながら広い視野で学ぶことができ、考古学を学ぶ学生にとってとても良い環境だと実感しています。将来は、より多くの人に考古学の面白さを伝えることのできる職業に就きたいと考えています。そのためにも、今は授業以外にも考古学の知識をより深く身につけるために博物館見学や遺跡見学を積極的に行い、様々な本や論文を読むことも心がけています。

福田 有希さん

歴史学科 考古学専攻 3年  
群馬県立高崎北高等学校 出身

